



謹啓 秋気漸く大催  
 少歳多し所法壯  
 中と也所を定智之  
 至少所を人新聞上  
 光法管見の如く当正  
 一其後何事かふく切  
 爾此戦争常見物也  
 隨意致す事を得  
 きる次第甚だ歩  
 惑能生し依て出し  
 く内地を旅行致す存  
 しゆれ所昨今人々  
 甚だ要ししく外と  
 老人見ぬ其何れの外  
 玉たること聞えす  
 若くも投する者不



玉たる多しと聞えり尾石  
若くも投せざる為ならず  
し領事幸のし特の外  
心配致居、故當ほ上  
海子蟄居て其在、戦  
地を危墜をも侵す、覺  
悟も至りしなり、太平無  
事の處に遊んて尾石小傷  
けりりり、~~幸非も~~憾不本  
意か付り先つゝ上海見  
物と致居、  
領事及の山口氏、美  
事玉極深切に教へ  
る水甚だ得便利申、  
尤も山口然、玄海丸十日按鑑  
ありて帰玉したる様子  
ありし、頗る秘し居  
る様子あり、其片積り不  
お筋なる、いよゝ、不一

海子藝居之在、戦  
地を危険を侵す、是  
陪と至り、太平等  
幸の慶少遊人、尾石小傷  
ケりりり、~~幸非半也~~憾不本  
意カ付、先つ、上海見  
物と致序、

領事及の山口氏、美  
事至極深切に教へ  
是れ甚大得便利申、  
尤も山口氏、玄海丸十日  
にて帰玉したる様子  
あり、頗る秘し居  
る様子、其片積り不  
如、勿く、子、不

九月十三日 打 雑

大隈總理  
閣下